

No.	15-5-3	場所	高森町 天竜社市田工場	次世代への継承キーワード
名称	①天竜社西側一帯と水没した天竜社・飯田線 ②浸水した天竜社工場 ③土砂で埋まった工場の建物			災害現象理解
災害現象	工場の被災			河川 大島川
補足事項				支流

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：災害当時、天竜社市田工場事務課長

<天竜社市田工場では>刻正に二十八日の午前零時四十分なり。濁流というより泥々の塊が……みるみる水量を増す。鉄砲水は矢の様に床下を這い廊下の上を走る。恐れていた決壊、大島川が全部入ったな…。(中略)濁流の中に花を咲かせて真白く吾々の生命である繭や配繭桶や流木が場内一面を埋めつくして流れる。(中略)乾燥場は建物に打ちつける滝しぶきの無気味な音でとても近付けない、三工場から引返し自助機工場に入る。副産の水槽があの重いものがどうしてもと思う程中央廊下を静かに移動している。(中略)

<28日> 午前四時に近く工場内を荒していた水はまるで嘘の様にひいていた。(中略)みると大島川には水は一滴もなくやがてシラジラと明ける視界の中で鏡の様に光る吉田河原の恐ろしい光景が眼に飛び込んだ。

(「災害の市田郷」p.55)

記 録



天竜社西側一帯と埋没した天竜社。左上の隅がみずほ橋、飯田線はほとんど姿をとどめない。



堤防決壊により被害を受けた天竜社市田工場



天竜社市田工場構内の惨状

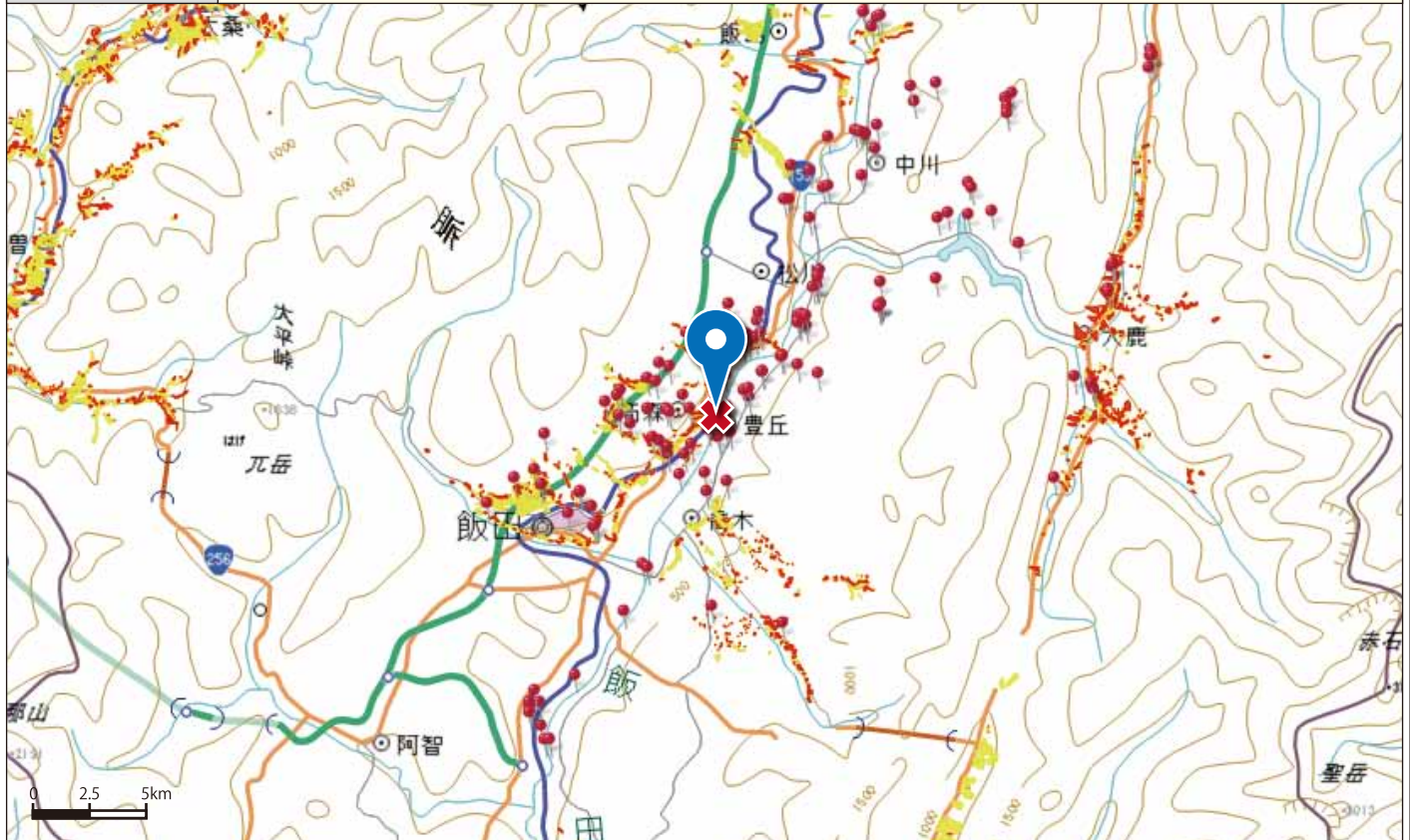
出典 「水害から生命・財産を守りましょう」p.9/「高森百年の写真史」/「災害の市田郷」p.55

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

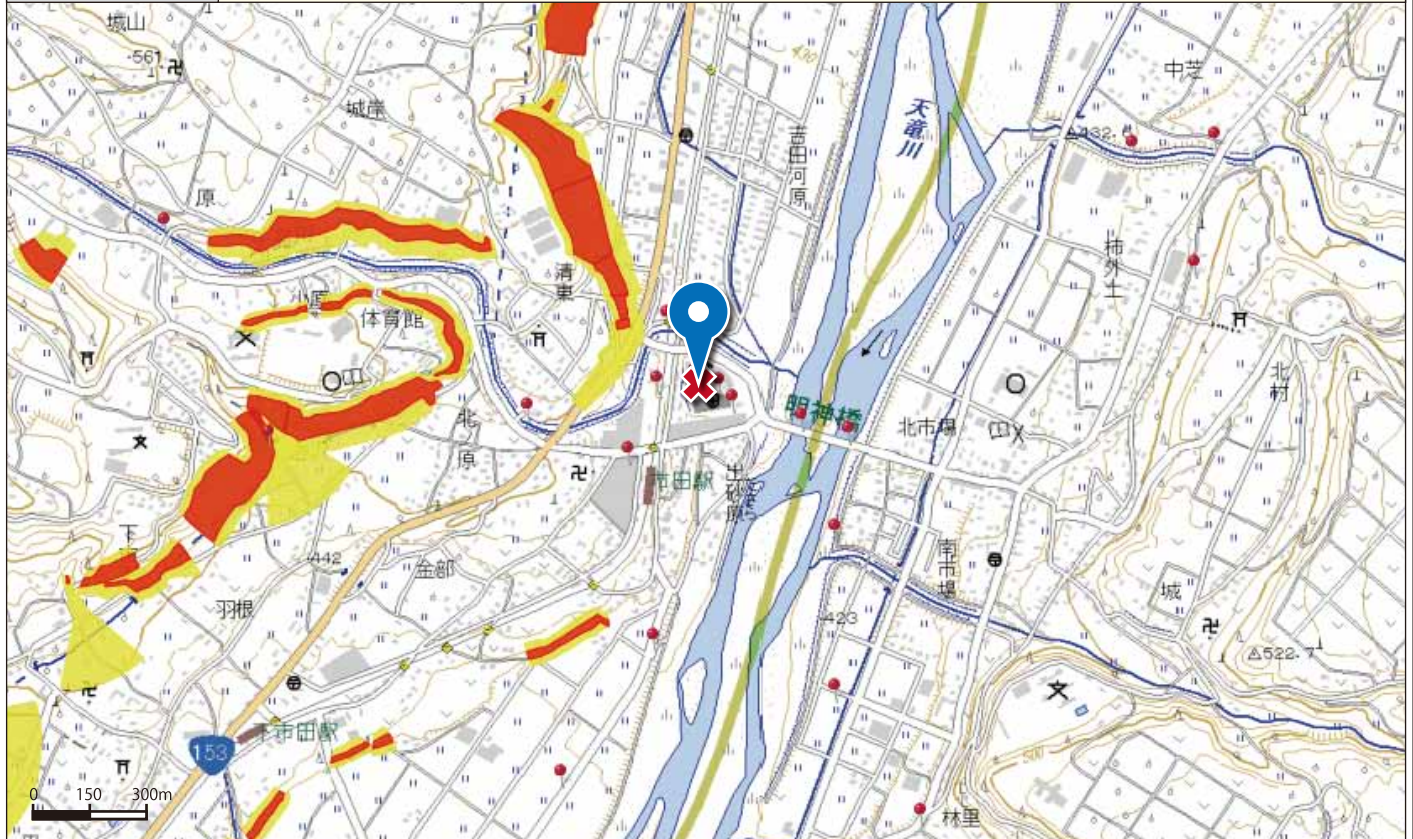
No.	15-5-3	場所	高森町 天竜社市田工場	緯度	35.551432
-----	--------	----	-------------	----	-----------

名称	①天竜社西側一帯と水没した天竜社・飯田線 ②浸水した天竜社工場 ③土砂で埋まった工場の建物	経度	137.887924
----	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。